



なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和7年 4月11日
第3号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：0冊 1冊以上提出した児童数：0名 4月10日現在

6つのふれあい体験活動のススメ

【学校教育目標】

- 進んで学ぶ子（知育）～主体的に、意欲的に取り組む児童
- 思いやりのある子（徳育）～他者の痛みが分かり、行動できる児童
- 元気な子（体育）～粘り強く、根気強く取り組む児童

本校では、上に掲げた学校教育目標の達成を目指して、目指す学校像：夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校を設定し、子供たちに3心（自分に負けるな・うそをつくな・弱い者をいじめな）を育むという流れを考えています。そして、様々な教育活動を推進していく柱として「6つのふれあい体験活動」を位置付けています。

今年度で3年目となりますが、「6つ」とは、「自然」「人」「本」「家族」「地域」「本物」のことです。子供たちが体験活動をとおして、五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）に直接働きかけ、知的な理解だけでなく、感性や感度を高めてほしいと期待しています。また、体験活動は身に付けた知識・技能を“生きて働く知恵”に変えるとも言われています。生活・学習の中には、やってみないと分からない

ことやできないことがたくさんあります。やる前から「できない、無理！」と諦めてしまったらもったいない。「できる・できない」の2択で判断するのではなく、チャレンジする中で子供たちは、試行錯誤を繰り返しながら様々なものを自ら学んでいくのではないのでしょうか。

梨の収穫（昨年度）



体験から学ぶ

子供が転ばないように
目の前の石をどけてはいけない。
転ぶ痛みも分からなければ
上手な転び方も覚えられない。
小さな時に何度も転ばせよう。
大きくなつてから
上手に転べるようになる。

人は体験することで、
多くの気づきを得ていくものだ。

親ができることは
痛みも含めて子供の体験を邪魔し
ない、否定しないこと。
かわい子に手を貸したいのに
あえて貸さないことが
親にとっての新しい体験となる。

親としての体験が増えていくと
自分を育ててくれた
親の気持ちやっとなんか分かる。

学力向上

学力向上は、本校の最重要課題です。今年度も上里町教育委員会の委嘱を受け、学力向上の研究に取り組み、11月7日に上里町学力向上授業研究会を、本校を会場に行う予定です。

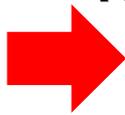
学校研究課題を『一人一人の学びを保障した授業づくり～算数の基礎・基本の定着を目指して～』として、教職員の授業改善をはじめ、学力向上への方策を研究していきます。

また、学力向上の方策の一つとして【校長賞】家庭学習への取組を継続していきます。人間の頭脳は、覚えたことを忘れるようにできているようです。(エビングハウスの忘却曲線)

学校で学習したことを、家庭で復習等を行うことで定着が図れるものと考えています。今年度も家庭の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

【令和6年度の実績】

- 提出されたノートの冊数 195冊
- 1冊以上提出した児童数 65名



【令和7年度の目標】

- 提出されたノートの冊数 250冊
- 1冊以上提出した児童数 90名

できていますか？

早寝・早起き・朝ご飯

「早寝・早起き・朝ご飯」の重要性を、「百マス計算」で知られる陰山英男 著『突き抜ける子の育て方』から抜粋して掲載します。

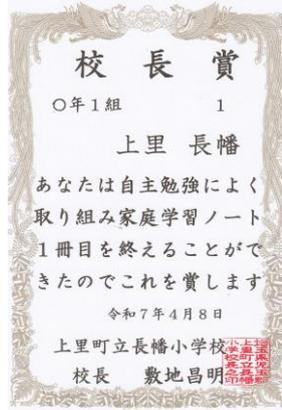
学力低下の最大の理由は、社会の夜型化に伴う生活習慣の乱れによる脳の機能低下である。私は、そう考えてきました。そして、その実証として、「早寝・早起き・朝ご飯」に読み書き計算による脳のトレーニングを加えることで、短期間での驚異的な学力向上を実現してきました。

しかし、その実践が進む中で、私がさらに確信を深めたのは、「早寝・早起き・朝ご飯」は、学力のみならず、人生の基本だということです。どういうことでしょうか。

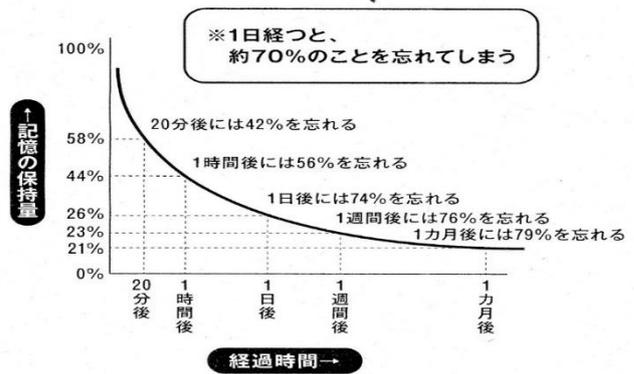
「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣が定着してくると、体も元気になり、体力がつく他、気分までよくなってきます。

そして、もう一つ分かってきたことは、睡眠に深い浅いがあるように、人によってしっかり眠り、心と体をゆっくり休められる人と、疲れを引きずる人とに分かれるということです。

そして、それが精神力の強さに関係し、困難を克服する力にもつながってくるのです。これは、人間としてどのようなことを達成するかということにも関わってきますし、どんな気分で過ごすかにも関わってきます。……「早寝・早起き・朝ご飯」は、人生すべての基本！！



エビングハウスの忘却曲線



人間は20分後には約40%、
1時間後には約50%、
1日で約70%のことを
忘れてしまう！



